



日野中学校だより10号(9月14日付)で、3年生の「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果等についてお知らせしましたが、今回は2年生の「県学力調査(国語・数学)」及び1年生の「市学力調査(国語・数学)」の結果等についてお知らせします。

### 令和3年度 2年生県学力調査(国・数)結果分析

	成果	課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと・聞くこと」「読むこと」はどちらも佐世保市の平均を上回っている。</li> <li>○文章の内容を正確に理解する力が少しずつついてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書くこと」が市の平均を下回っており、特に自分の考えを書くことが苦手である。また、2つ以上の情報を組み合わせる書くことが苦手である。</li> <li>○どの領域も県の平均点を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で自分の考えをもつ場面を増やし、それを書いたり発表したりして、考えを深められるようにする。</li> <li>○ゆめあこ等を利用して情報を組み合わせた過去問を「書く」単元に入れる。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の標準学力調査の課題であった、数量や図形についての知識・理解については、今年度長崎県の平均を上回っており、基礎学力の向上が見られる。</li> <li>特に、関数や資料の活用分野においては大きく上回っているものもあり、分野毎の県の平均を越えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な知識の中でも、頻出しないものの正答率が非常に低い。昨年の4月頃に学習した内容等を忘れており、復習の不十分さが見られる。</li> <li>○根拠を用いて理由を説明する問題等の正答率が低く、自分の考えをまとめたり、表現したりすることが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○e-ライブラリ等を活用するなどして、旧学年の学習内容等の復習を行う。</li> <li>○授業の中で、説明をしたり、説明を書く活動を行う。その際に理由や根拠を明確にし、伝えたり説明したりする経験を増やすことで、説明することの抵抗をなくしていく。</li> </ul>

### 令和3年度 1年生県学力調査(国・数)結果分析

	成果	課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「情報と情報の関係について理解をし、図を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している」では、平均値を大きく上回っている。</li> <li>○「書くこと」では、特に書き表し方や構成に関しては、平均値を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「漢字の読み書き」は、全国平均を下回っている。特に「書き」については漢字を正しく覚えて書く力に課題があると考えられる。</li> <li>○「書くこと」では、書き表し方や構成を考える力はあるが、自分の考えを明確にする力が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書くこと」において、短くても文章を書かせる場面をこまめに設定していく。また、自分の考えを明確にした上で、その理由や根拠を書かせることに徹底して取り組む。</li> <li>○漢字学習においては、小テストの実施頻度を増やし、間違えた漢字のやり直しを丁寧にさせたり、間違いやすい漢字は、授業の中で確認する時間を取る。</li> </ul>

数 学	○小数・分数の計算等の基本の計算については目標値と同程度、または上回っている。 ○図形分野においても概ね目標値と同程度か上回っている。 ○基本的な知識や計算については概ね理解できている。	○反比例の表を読み取り、表に当てはまる数を求める問題、円グラフから割合を読み取り、基準量から比較量を求める問題、ドットプロットから、最頻値を読み取る問題等のグラフや表を読み取り、問いを求める問題については目標値を下回っている。	○関数学習においては表、式、グラフを関連させながら学習を行う。 ○資料の活用の学習においては、資料を読み取り、そこからわかることを記述させたり、説明させたりする活動を行う。
--------	---	---	---

◇各種学力調査結果を受けて、日野中学校では、今後も全職員で学力向上に向けて取り組んでまいります。

## 日野中学校 全校体制での8つの取組ポイント

### 1 学習指導要領の目標や趣旨を確認し、その実現を図る。(4月～ )

①校長の学校経営方針で学習指導要領が目指す方向性とその背景を確認・理解し、資質・能力の3つの柱の内容を意識した教科目標を立てた。

### 2 全職員で調査問題の趣旨（メッセージ）を確認する。(8月)

②まず、問題を教師自身が解き、生徒がどのように思考・判断し、どのような書く力（記述する力）が必要なのかを体感することが重要であると考え、夏季休業中に全職員で調査問題（国・数・英）の問題を解いてみた。問題の特徴や傾向を把握し、必要な力を把握することができた。



### 3 調査問題の結果を分析し、課題の所在を話し合う。(8月～9月)

③子どもたちの課題（弱点）を知る。  
④誤答傾向や無回答・不十分な解答に指導のヒントを得る。

### 4 年間の見通しを持ち、計画を立てる。(8月)

⑤校内の全体計画をベースに、各教科（教科部会）の計画を立てた。（定期的に検証し、修正等を行う。）

### 5 調査問題や調査の結果を活用した授業を構想し、実践する。(9月～ )

※⑥『長崎県授業改善メソッド』に示された「本時の身に付けさせたい力」を明確にし、「めあて」と「まとめ」等を全職員が全教科で確実に実施する。（昨年度からの継続）

⑦タブレット等のICTやe-ライブラリ、問題データベース等の学習プリントを活用し、個々のつまずきに対応する。 ⑧調査問題の傾向を取り入れたテストを作成する。